

身近なものを使った簡単な織り



身近なものを使っての織り講座です。

ハガキを使ってリジッド箆を作り、バック・ストラップで織ります。

今回必要なものは

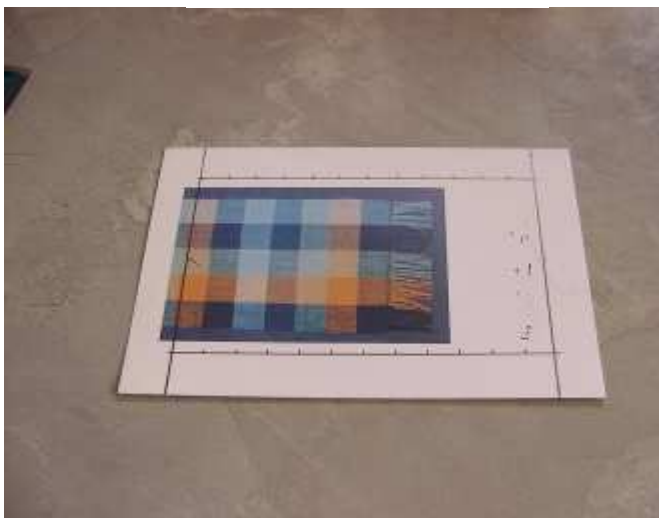
- | | | |
|----|-----------------|----|
| 1. | 不要ハガキ (使った後のもの) | 2枚 |
| 2. | 割り箸 | 1膳 |
| 3. | 輪ゴム | 2本 |
| 4. | 定規 (20 cm以上のもの) | 1本 |
| 5. | マジック (細書き用) | 1本 |
| 6. | 鉛筆 | 1本 |
| 7. | はさみ (又はカッター) | 1本 |



1、今回使ったハガキは、古い作品展案内のハガキを使いました。ハガキは横に使います。まずは、余白などの印をつける。余白は上下左右1.5 cmを取る。

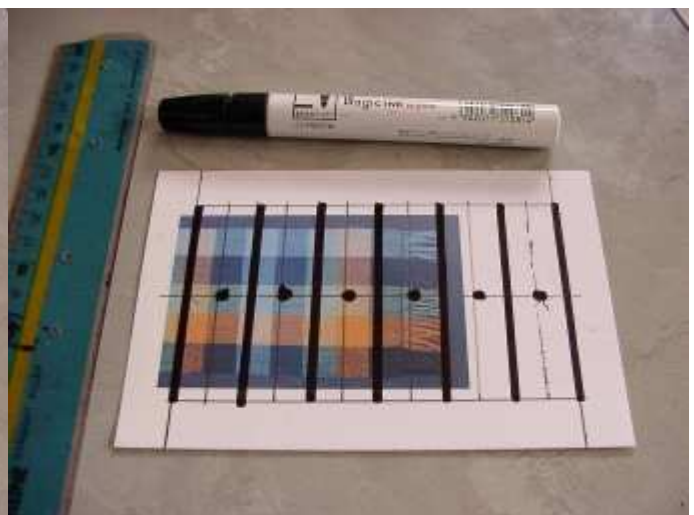
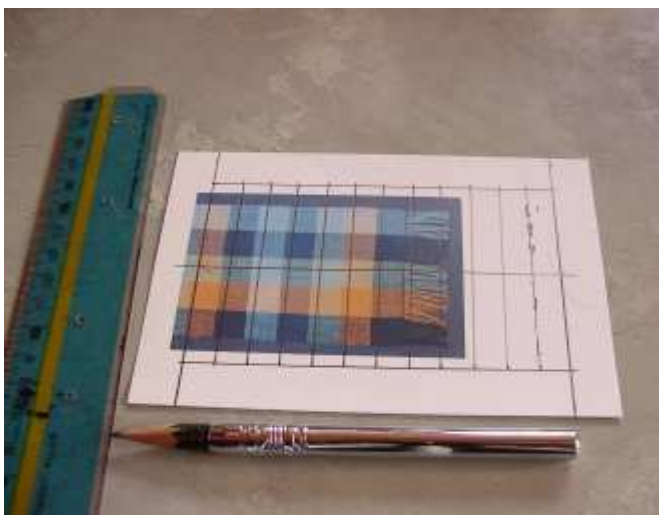
上下左右余白1.5 cm

経の中心に線を引く



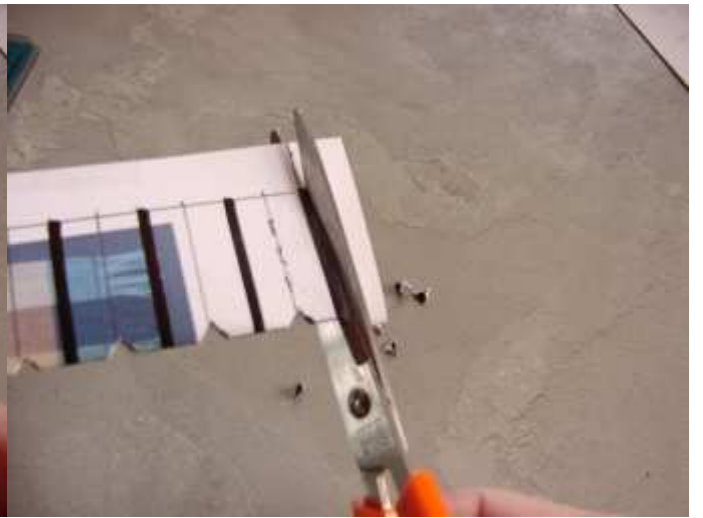
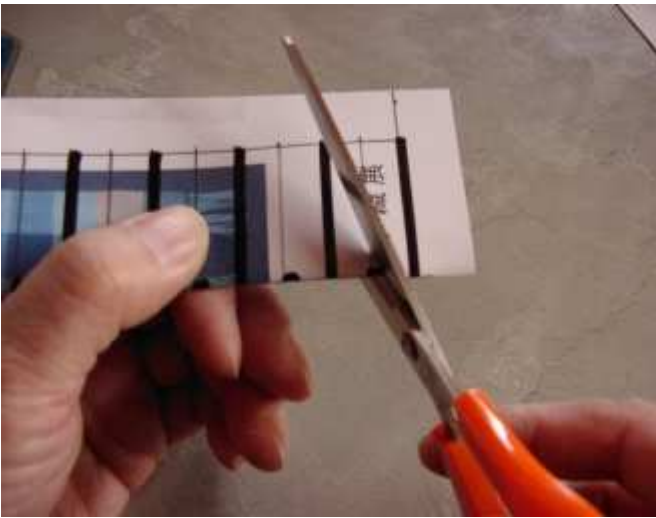
上下1 cm間隔で線を引く

はじめに経を引く、次に中心に印をつける。



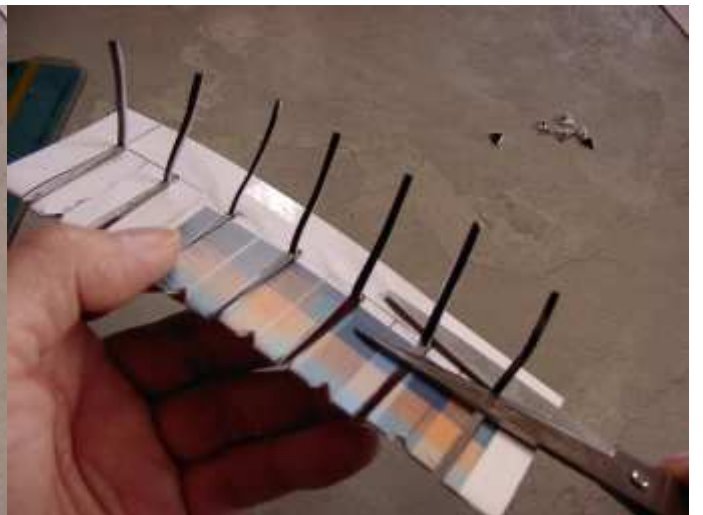
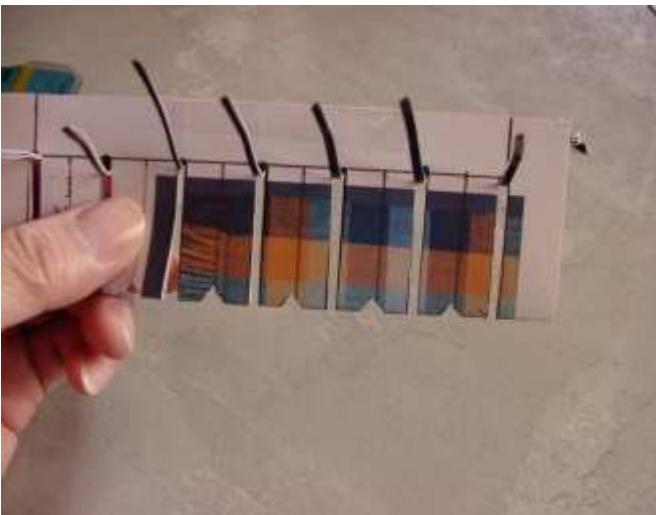
経中心で二つに織り、
中心の点に切込みを入れる。
裏返し、切込みを入れ切り抜く。

マジック線の経に切込みを入れる。
裏に返し、切込みを入れる。



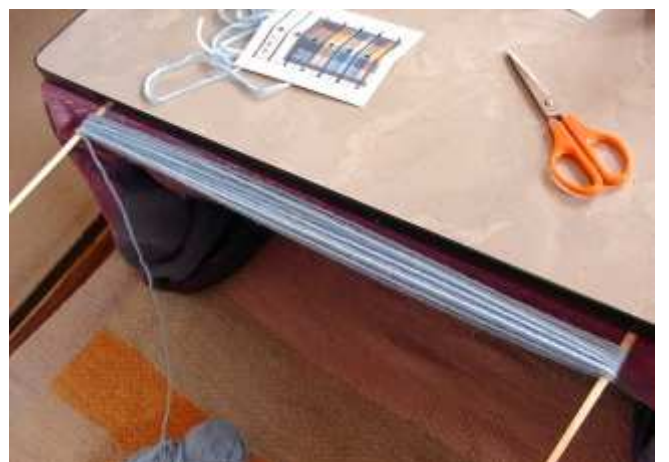
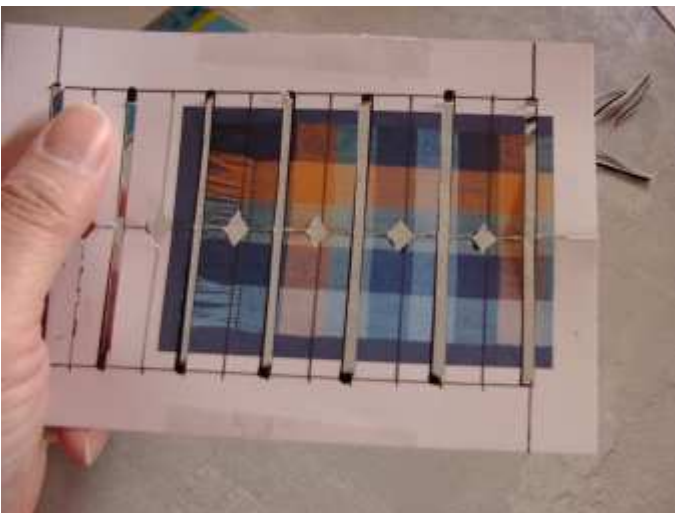
縦線に切り込みが入ったので、引き起こす。

引き起こしたところを元から切り離す



折っていたのを広げる
スリットとホールができています。

コタツテーブルと台の間にハシをいれて
必要な経糸の長さとお数を揃える。



スリットとホールに糸を通す



2本から3本を結ぶ



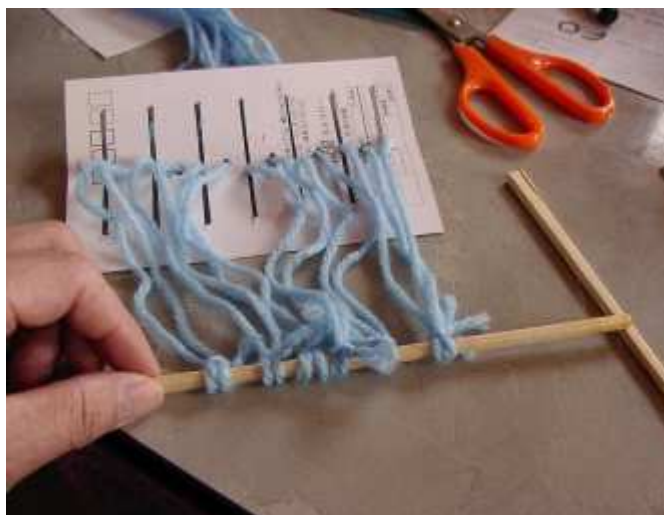
結んだところ



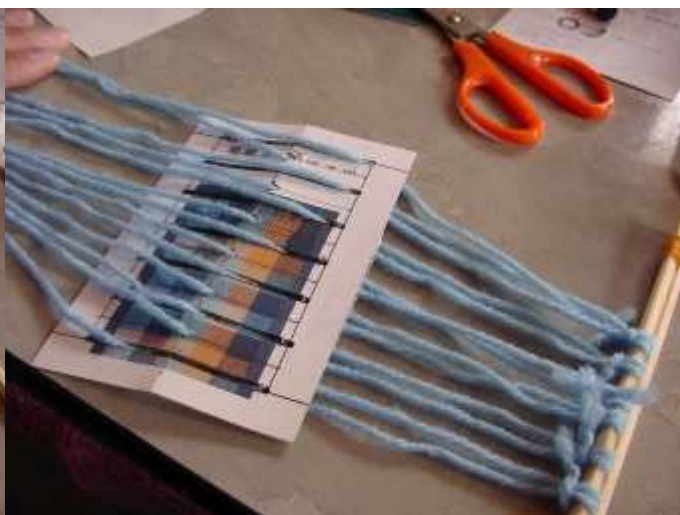
輪にして、ハシへ通す



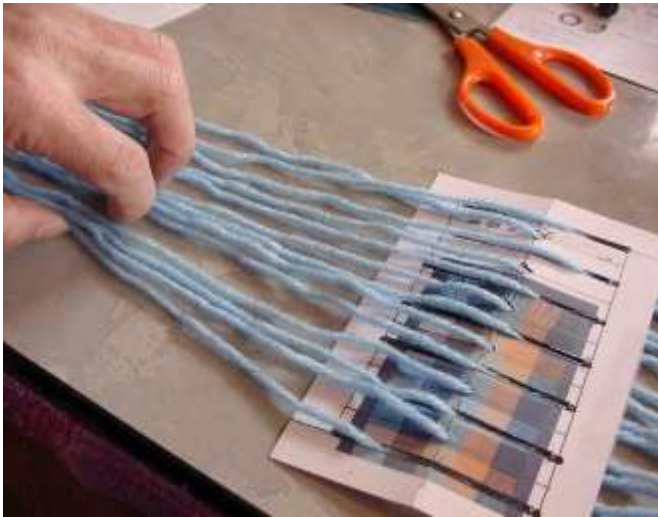
ハシに結びつけたところ



経糸をそろえながら後へ引く



乱れを直しながら伸ばす



後端を一つに結ぶ



結び終わったところ



別の糸で20 cmくらいで輪を作る



結んだ端を入れる輪を作る

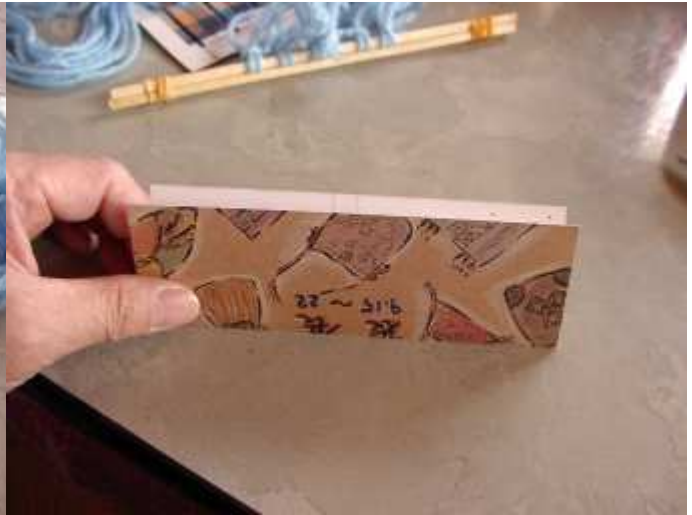


この輪の中に結んだ端を入れる



端を入れ終えたところ、この輪を結び付ける

もう1枚のハガキを縦中心で二つに折る



両サイドに三角に切込みを入れ切り取る

片側に緯糸を巻く



箧になっているハガキを上下させることで開口ができます。開口がスムーズに行かない時は、経糸に少しテンションを掛けてみましょう。持上げ開口へ糸を巻いたハガキを入れる



箄を下げて、杼を入れ緯糸を手前に寄せる。そのまま糸を入れる。この繰り返しです。緯糸が無くなった時の繋ぎ方は、新しい糸を3 cmくらい重ねる。



ベルト通しに両端を入れると楽に経糸が確保できる

織り終わりました。



端の結びで切り離す。

織り始めと織り終わりを、
2〜3本まとめて結び始末をし、出来上がりです。



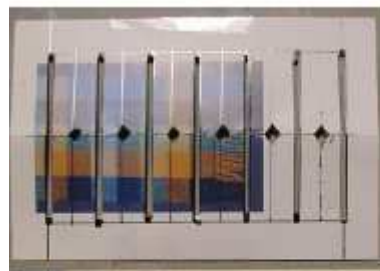
結び終わったところ



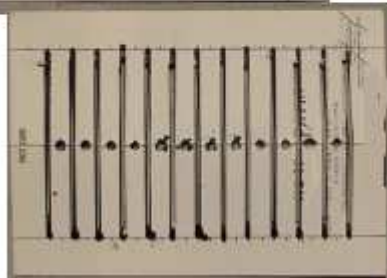
ウールでマフラーを織った後の仕上げは、モノゲンなどの中性洗剤で軽く押し洗いをしましょう。
その後軽くすすぎ陰干しをする。

糸の太さに合わせて、スリットとホールに入れる間隔を調整してください。
あまり間隔が狭いと、糸と紙笥に無理がかかり破れることがあります。

1 cm間隔



5 mm間隔



手作りの機はいろいろな材料を工夫することで、作ることができます。
経糸を上下させることができれば、織りも簡単にできます。
材料は、おもに100円ショップで探しています。

各地で、織りの普及に励んでいる方へ、ちょっとした参考になればと思い作ったテキストです。

手織り・裂き織り 工房 絲遊 小木美光
E-mail : itoyuu@jcom.home.ne.jp
